



人数計測カメラの設置概説

CED 株式会社シーエーシステム

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-17-27 神三ビル
TEL 03(3263)7355 FAX 03(3239)2733
URL <http://www.ced.co.jp>

1.はじめに

IBSカウンターの導入にあたって、ユーザとの事前打ち合せと現地調査が必要になります。ユーザと入念な打ち合せ(システム構成等、ここでは詳しく触れません)により、店舗建物固有の出入口構造と、計数用カメラの設置する最適な場所などを建築見取図で確認する必要があります。

ドームカメラの取り付け調整時に映像確認のためNTSCモニターを使用します。

調整終了後は、キーボード・マウス・VGAモニターを接続した状態で稼動して下さい。

2.設置場所の選定にあたって

建屋見取図を基に設置場所(出入口)を確認します。個々の設置場所(出入口)に対し、ドームカメラの必要台数と計測位置を判断します。(ドームカメラは原則として建物内部の人が通過する出入口付近の天井に設置します。)ドームカメラが設置可能な出入口付近の床幅と天井の高さを測定し、使用するカメラの画角からドームカメラの必要台数と個々のドームカメラの撮像画面の画面範囲を決定します。(表1参照)この際、設置時に設定する計測領域の制限として、水平方向に横並びで3～6人の範囲となることを考慮してください。また、1台のドームカメラの画面範囲がひとつの出入口の幅に満たない場合は最大4カメラまでの横方向のパノラマ仕様となります。設置場所の照明環境としては計測領域の周辺照度が200ルクス以上の光量で被写体を照らす環境が望ましく、通行者の太陽光による影等は極力排除した環境を推奨します。本体装置の設置場所は人目につかず、人の手に触れない場所を確保します。ここまでを事前に確定しておく必要があります。

3. ドーム型カメラ、ピンホール型カメラの選定及び取り付けについて

使用するカメラは原則としてIBSカウンター付属品及び同等品とします。
撮影画角はバリフォカルレンズを使用した場合で 60° から 90° までのものとしてください。但し、天井の高い場所に(4m以上)設置する場合はこの限りではありません。

ドームカメラの設置時には取り付け前にレンズ焦点を(人の頭付近に焦点を合わせる。)調整してください。また、ドームカメラが写す画角内の計測領域は出入口に対して水平になるように調整し、なおかつ目的の出入口幅を通過する人物が完全に写る範囲(エリア)とします。また、取り付けに際しては、撮影画面内に直射日光(特に西日)が入らない場所を選んでください。

撮像画面内に自動ドア等が写る撮影環境では、ドア開閉の方向と計測領域は撮像画面の水平方向に限定されます。(画像処理の段階で水平方向の移動物体については非検知処理が働きます。)計測領域は水平方向に横並びで3～6人までの範囲としてください。出入口は必ずモニター画面上の上部としてください。ドームカメラの視軸の俯角は90度±10度とし、できるだけ計測領域が撮像画面の中央に写るように取り付けてください。

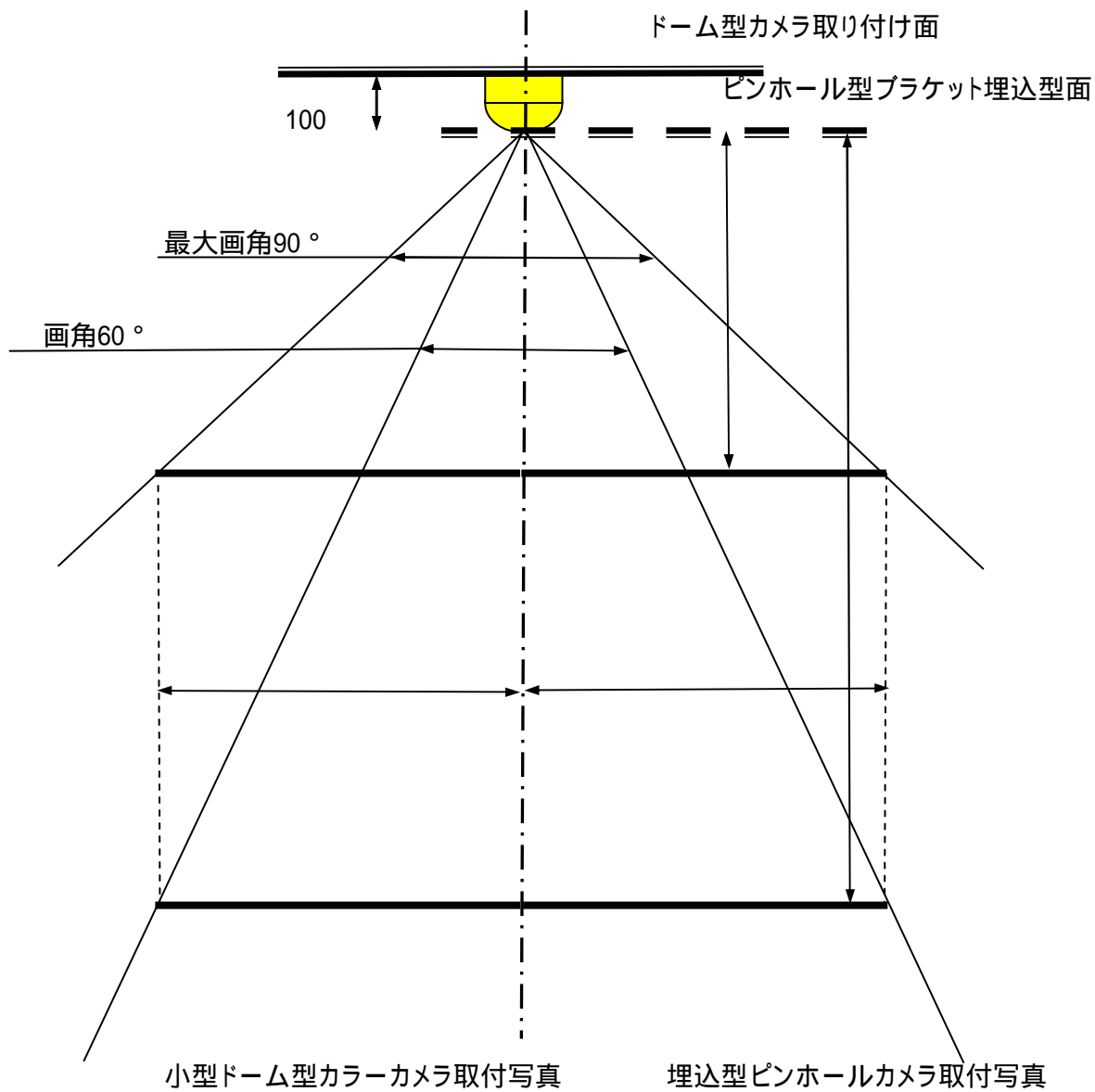
4. 計測領域および検知領域の設定について

ドームカメラの設置を終えたら、計測領域を設定します。設定するには本体装置の電源を入れ、アプリケーションを自動立上を行い増す。(別紙「取扱説明書」参照)計測画面が表示されたらメニューバーの“ON/OFF”をクリックして、カウント動作を停止させてから設定を始めます。カウント停止の状態モニター画面上のマウス操作により任意の範囲を決定します。計測領域の縦幅は人間の前後方向の約1.5倍に設定し、横幅は表1および計測領域(出入口)幅に対して、モニター画面上で左右ともおおよそプラス1cmに設定してください。(計測領域の横幅は数値で表せないなので、人物が通過する範囲を必ず満たすものと考えてください。検知領域が狭く、人物が境界部分を通過するような場合、カウントしない可能性がありますのでご注意ください。)

計測領域の設定(初期設定)前には必ず“ON/OFF”をクリックして、カウント計数動作を停止させてから設定を始めてください。

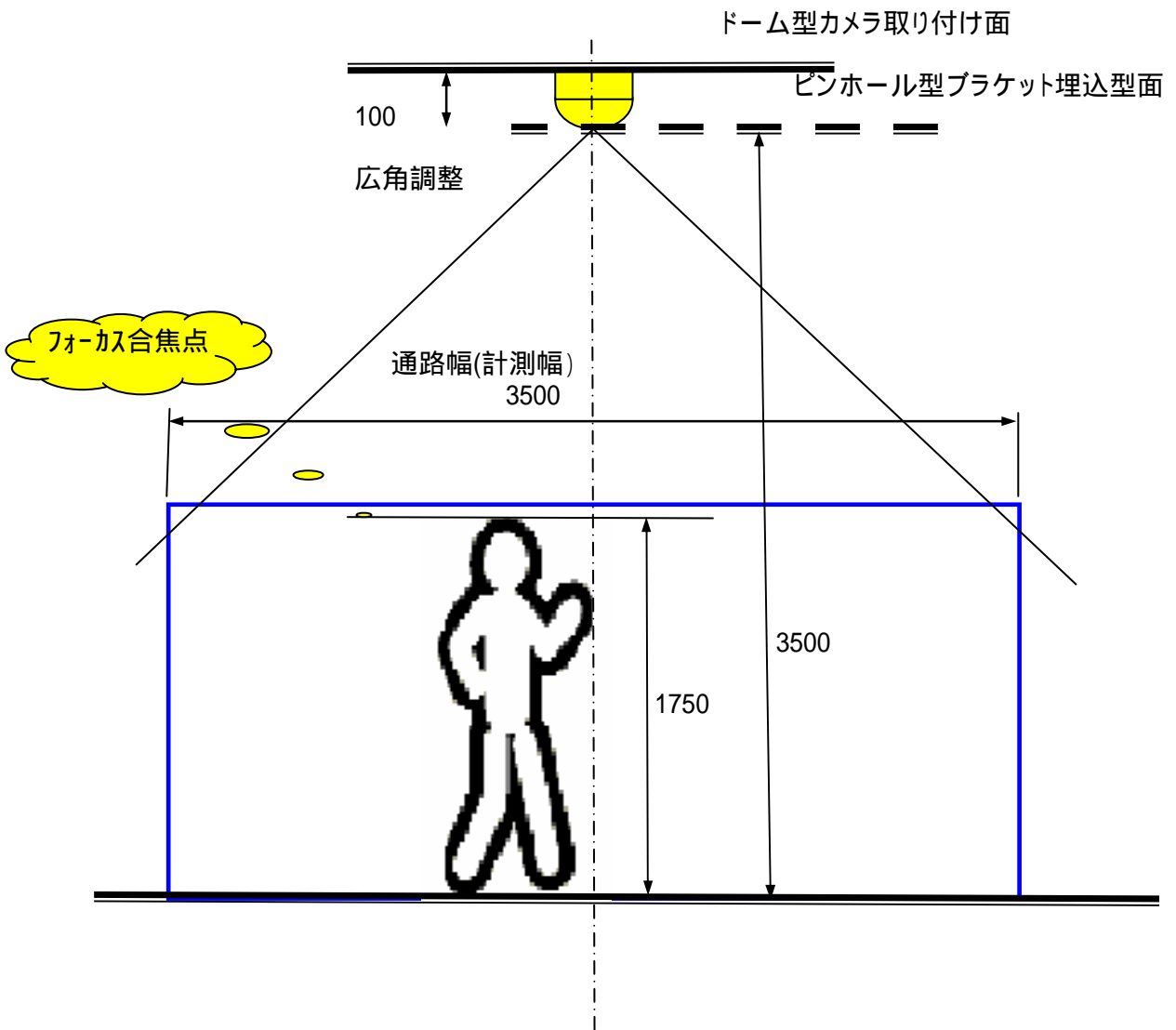
画面における出入り(入退出)の定義

入店方向(IN_COUNT) 画面内上部方向から下部方向の移動
退店方向(OUT_COUNT) 画面内下部方向から上部方向の移動



通路幅 3500 計数カメラ設置図

(バリフォーカルを广角設定)
カメラ取り付け天井高さ : 3500



通路幅 2000 計数カメラ設置図

(バリフォーカルを広角設定)
カメラ取り付け天井高さ : 2800

